2026 年 11 月 19 日

訂正とお詫び

下記の図書について、内容の一部に訂正がございます。深くお詫び申し上げるとともに、以下のように訂正いたします。

■ 1 級管工事施工管理技士 第二次検定 テキスト＆過去問題集　2026 年度版（令和８年度版）

頁	該当箇所	誤	正
27	2 行目の記述	冷温水ポンプは、吸収令温水器冷温水還り管の吸収冷温水器入り口側に接続～	冷温水ポンプは、吸収冷温水器冷温水還り管の吸収冷温水器入り口側または出口側に接続～
27	●図表3:空調用冷温水配管システム図 凡例枠内 冷温水往還り管の英語表記	ＣＨ	ＣＨＲ
51	【補足解説】 空調用冷温水配管システム図 凡例枠内 冷温水往還り管の英語表記	ＣＨ	ＣＨＲ
258	check‼タンクの据付け･回りの配管施工に関する留意事項 ▸据付【共通】 2 行目	保守管理のため、60cm以内の円が～	保守管理のため、60cm以上の円が～
264	check‼ポンプユニットの据付け･配管等に関する留意事項 ▸試運転調整 8～9 行目	・冷温水配管は水圧試験とし、最高使用圧力の1.5倍の圧力(その値が0.75MPa未満の場合は、0.75MPa)とする。	配管の水圧試験に関する記述のため、当該記述を削除。
288	【補足解説】 (1)の一番上の✓解答例	保守管理が容易に行えるようにするため、60cm以内の円が～	保守管理が容易に行えるようにするため、60cm以上の円が～
291	(4)ポンプの試運転調整に関する留意事項	✓冷温水配管は水圧試験とし、最高使用圧力の1.5倍の圧力(その値が0.75MPa未満の場合は、0.75MPa)とする。	配管の水圧試験に関する記述のため、当該記述を削除。

以上